

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	病理検査学2		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	通年	教室名	1校舎 401・501
担 当 教 員	齋藤寛、秦直也、増田一吉	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
国家試験に必要な重要事項を習得し、国家試験合格に向けた実力を身につける。生理学・解剖学などを総合する病理検査学を学ぶことで疾患を広い範囲から考え思考する学習を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
科目履修試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
臨床検査学講座 病理学/病理検査学および配布プリント						
《授業外における学習方法》						
課題として国家試験問題などに取り組んでもらう。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験に必要な重要事項を総復習するので、国家試験に合格できる実力を身につけて欲しい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	病理組織検査学的検査の意義と標本作製の流れを理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを中心に復習しておく。	
		各コマにおける授業予定	病理検査の意義、病理標本作成の流れ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	臓器の固定について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを中心に復習しておく。	
		各コマにおける授業予定	固定の意義、固定液の種類			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	臓器の切り出し、脱脂、脱灰、包埋について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを中心に復習しておく。	
		各コマにおける授業予定	切り出し、脱脂、脱灰、包埋			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	薄切、凍結標本作製について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを中心に復習しておく。	
		各コマにおける授業予定	薄切、凍結標本作製			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	染色色素、一般染色について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを中心に復習しておく。	
		各コマにおける授業予定	染色色素、HE染色			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	各臓器のHE染色の染色像について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを中心に復習しておく。
		各コマにおける授業予定	HE染色の染色像		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫系や泌尿器系、生殖器系疾患に関する知識を深め、演習問題が解けるようになる。	PC、プロジェクター	・病理学の赤本を読む。 ・配布資料の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	免疫系や泌尿器系、生殖器系疾患について学習し、演習問題を解く。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	造血器系疾患に関する知識を深め、演習問題が解けるようになる。	PC、プロジェクター	・病理学の赤本を読む。 ・配布資料の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	造血器系疾患について学習し、演習問題を解く。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	結合組織の特殊染色に関する知識を深め、演習問題が解けるようになる。	PC、プロジェクター	・病理学の赤本を読む。 ・配布資料の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	結合組織の特殊染色について学習し、演習問題を解く。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	粘液や脂肪の特殊染色に関する知識を深め、演習問題が解けるようになる	PC、プロジェクター	・病理学の赤本を読む。 ・配布資料の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	粘液や脂肪の特殊染色について学習し、演習問題を解く。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	核酸やアミロイド、線維素の特殊染色に関する知識を深め、演習問題が解けるようになる。	PC、プロジェクター	・病理学の赤本を読む。 ・配布資料の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	核酸やアミロイド、線維素の特殊染色について学習し、演習問題を解く。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	無機物質や生体内色素の特殊染色に関する知識を深め、演習問題が解けるようになる。	PC、プロジェクター	・病理学の赤本を読む。 ・配布資料の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	無機物質や生体内色素の特殊染色について学習し、演習問題を解く。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌細胞や病原体の特殊染色に関する知識を深め、演習問題が解けるようになる。	PC、プロジェクター	・病理学の赤本を読む。 ・配布資料の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	内分泌細胞や病原体の特殊染色について学習し、演習問題を解く。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経系の特殊染色や酵素組織化学染色に関する知識を深め、演習問題が解けるようになる。	PC、プロジェクター	・病理学の赤本を読む。 ・配布資料の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	神経系の特殊染色や酵素組織化学染色について学習し、演習問題を解く。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫染色に関する知識を深め、演習問題が解けるようになる。	PC、プロジェクター	・病理学の赤本を読む。 ・配布資料の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	免疫染色について学習し、演習問題を解く		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義実習
科目名	病理検査学2		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対象学年	3年生		学期及び曜時限	通年	教室名	1校舎 401・501
担当教員	齋藤寛、秦直也、増田一吉	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
国家試験に必要な重要事項を習得し、国家試験合格に向けた実力を身につける。生理学・解剖学などを総合する病理検査学を学ぶことで疾患を広い範囲から考え思考する学習を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
科目履修試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
臨床検査学講座 病理学/病理検査学および配布プリント						
《授業外における学習方法》						
課題として国家試験問題などに取り組んでもらう。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験に必要な重要事項を総復習するので、国家試験に合格できる実力を身につけて欲しい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	ISH法や遺伝子解析に関する知識を深め、演習問題が解けるようになる。	PC、プロジェクター		・病理学の赤本を読む。 ・配布資料の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	ISH法や遺伝子解析について学習し、演習問題を解く。			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	電子顕微鏡標本作製法や病理解剖に関する知識を深め、演習問題が解けるようになる。	PC、プロジェクター		・病理学の赤本を読む。 ・配布資料の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	電子顕微鏡標本作製法や病理解剖について学習し、演習問題を解く。			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	毒劇物や固定、脱脂、脱灰法に関する知識を深め、演習問題が解けるようになる。	PC、プロジェクター		・病理学の赤本を読む。 ・配布資料の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	毒劇物や固定、脱脂、脱灰法について学習し、演習問題を解く。			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	細胞診総論に関する知識を深め、演習問題が解けるようになる。	PC、プロジェクター		・病理学の赤本を読む。 ・配布資料の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	細胞診総論について学習し、演習問題を解く。			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	細胞診の染色法に関する知識を深め、演習問題が解けるようになる。	PC、プロジェクター		・病理学の赤本を読む。 ・配布資料の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	細胞診の染色法について学習し、演習問題を解く。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	細胞障害や腫瘍に関する知識を深め、演習問題が解けるようになる。	PC、プロジェクター	<ul style="list-style-type: none"> ・病理学の赤本を読む。 ・配布資料の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	細胞障害や腫瘍について学習し、演習問題を解く。		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	細胞像に関する知識を深め、演習問題が解けるようになる。	PC、プロジェクター	<ul style="list-style-type: none"> ・病理学の赤本を読む。 ・配布資料の復習を行う。
		各コマにおける授業予定	細胞像について学習し、演習問題を解く。		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	病因、遺伝性病変、組織障害、代謝異常について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを中心に復習しておく。
		各コマにおける授業予定	内因と外因、遺伝性病変、組織障害と修復機構、代謝異常		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環障害、炎症性疾患、免疫異常について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを中心に復習しておく。
		各コマにおける授業予定	循環障害、炎症性疾患、免疫異常		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に必要な知識を理解することができる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを中心に復習しておく。
		各コマにおける授業予定	国家試験対策の総まとめ		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に必要な知識を理解することができる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを中心に復習しておく。
		各コマにおける授業予定	国家試験対策の総まとめ		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	腫瘍、循環器系疾患について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを中心に復習しておく。
		各コマにおける授業予定	良性腫瘍と悪性腫瘍、循環器系疾患		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸器系、消化器系疾患、内分泌系、神経系疾患について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを中心に復習しておく。
		各コマにおける授業予定	呼吸器系、消化器系疾患、内分泌系、神経系疾患		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に必要な知識を理解することができる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを中心に復習しておく。
		各コマにおける授業予定	国家試験対策の総まとめ		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に必要な知識を理解することができる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを中心に復習しておく。
		各コマにおける授業予定	国家試験対策の総まとめ		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	病理検査学2		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年生		学期及び曜時限	通年	教室名	1校舎 401・501
担 当 教 員	齋藤寛、秦直也、増田一吉	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
国家試験に必要な重要事項を習得し、国家試験合格に向けた実力を身につける。生理学・解剖学などを総合する病理検査学を学ぶことで疾患を広い範囲から考え思考する学習を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
科目履修試験						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
臨床検査学講座 病理学/病理検査学および配布プリント						
《授業外における学習方法》						
課題として国家試験問題などに取り組んでもらう。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験に必要な重要事項を総復習するので、国家試験に合格できる実力を身につけて欲しい。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 31 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	国家試験に必要な知識を理解することができる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを 中心に復習しておく。	
		各コマに おける 授業予定	国家試験対策の総まとめ			
第 32 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	国家試験に必要な知識を理解することができる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを 中心に復習しておく。	
		各コマに おける 授業予定	国家試験対策の総まとめ			
第 33 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	国家試験に必要な知識を理解することができる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを 中心に復習しておく。	
		各コマに おける 授業予定	国家試験対策の総まとめ			
第 34 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	国家試験に必要な知識を理解することができる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを 中心に復習しておく。	
		各コマに おける 授業予定	国家試験対策の総まとめ			
第 35 回	講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	国家試験に必要な知識を理解することができる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを 中心に復習しておく。	
		各コマに おける 授業予定	国家試験対策の総まとめ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に必要な知識を理解することができる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを中心に復習しておく。
		各コマにおける授業予定	国家試験対策の総まとめ		
第37回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に必要な知識を理解することができる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを中心に復習しておく。
		各コマにおける授業予定	国家試験対策の総まとめ		
第38回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に必要な知識を理解することができる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを中心に復習しておく。
		各コマにおける授業予定	国家試験対策の総まとめ		
第39回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に必要な知識を理解することができる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを中心に復習しておく。
		各コマにおける授業予定	国家試験対策の総まとめ		
第40回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験に必要な知識を理解することができる。	教科書 配布プリント	教科書や配布プリントを中心に復習しておく。
		各コマにおける授業予定	国家試験対策の総まとめ		
第41回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第42回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第43回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第44回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第45回	講義形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			